

## 令和7年度岐阜県山岳連盟スポーツクライミング競技強化指定選手選考基準

① 強化指定選手は東海スポーツクライミングコンペで優秀な成績を上げた者からを選考する。

**選考の対象順位は上記大会順位から抽出した岐阜県山岳連盟所属選手の県別順位を使用する。(※1)**

a.選出方法 リード順位×ボルダー順位で算出されたポイントが最小の者から順に選考する。

b.同ポイントの選手が複数の場合は、どちらかの順位が一番高い選手を選出する。

例 A選手 リード1位 ボルダー位(1×6=6p)

B選手 リード2位 ボルダー3位(2×3=6p) この場合、A選手を選考

・2位以下が同ポイントで順位の優位が同率の場合は、上記大会結果の順位を利用して a の選出方法で選考する。その結果でも同着の場合はbの選考方法で選考する。それでも同着の場合は全競技終了後にボルダー競技にてスーパーファイナルを行って順位を決定する。

② 岐阜県山岳連盟強化指定選手の選定

上記の強化指定選手は東海スポーツクライミングコンペで優秀な成績を上げた者からを選考する。

選考内容は①に準ずる。

指定選手の人数は、各種別2名、未来の清流アスリート枠(中学2年以下)男子2名、女子2名。

③ JMSCA 主催のユース全国大会の出場資格基準に県推薦選手が該当する場合、上記大会の成績から推薦順位を決定する。(推薦順位が男女共通の場合、今年度は男子1位、女子1位、男子2位、女子2位・・・の順で選考する。)

※1

リード順位

1位	岐阜県	A選手
2位	愛知県	B選手
3位	岐阜県	C選手
4位	三重県	D選手
5位	岐阜県	E選手

ボルダー順位

1位	愛知県	B選手
2位	三重県	D選手
3位	岐阜県	C選手
4位	岐阜県	E選手
5位	岐阜県	A選手

上記成績の場合、

A選手 L1位×B3位 3p

C選手 L2位×B1位 2p

E選手 L3位×B2位 6p

よって、C選手、続いてA選手が選考される

岐阜県山岳連盟会長 小木曾昭文  
岐阜県山岳連盟競技委員長 小島一剛